

# 平成14年度に向けて

ポリテクセンター北海道  
(北海道職業能力開発促進センター)

竹俣 裕行

当ポリテクセンター北海道は、JRの札幌駅から小樽寄りに2駅目の琴似駅から歩いて5分という非常に立地条件にめぐまれた場所にあり、開設してから5年目という新しい施設である。建物・設備は新しいが、一方で知名度が低いという欠点がある。どうしても銭函とか岩見沢とか近くにある施設に比べると知らない人が多く、いかに北海道全域に名前を広めていくかが今後の課題である。



さて、平成14年度の当センターの私が属する機械系は9名体制となる。これまで失業者向けのアビリティコースとしては、テクニカルマネジメント科全部とFAシステム科の一部を担当していたが、平成14年度には新たに設備保全サービス科とCAD製図科が加わることとなった。この新しい2科は北海道の地域性に合わせた当センター独自のものということである。設備保全サービス科は機械系・電気系保全や補修工作・設備診断といった幅広い保全担当者を養成するためのもので、CAD製図科は夜間に実施し、パソコンに製図を書かせるCADを中心として、IT活用技術も含む製図担当者を養成するためのものである。これで、失業者向けのコースだけで、多い時には同時に4コースが並走することとなった。



さらに、従来から実施してきた在職者向けの能力開発セミナーがある。当センターの機械系の能力開発セミナーの特徴は、溶接の専門家が5名いるために、溶接関係のものが充実しているという点にある。これらのアビリティコースと能力開発セミナーによ

って、平成14年度は授業時間も今年度に比べて大幅に増加することとなった。失業率が過去最悪のものとなり、北海道にも失業者があふれる時代であるだけに、当センターの果たすべき役割は大きくなっており、授業時間の増加も時代に即したのかとも思い、仕事が増えるのを歓迎するべきかと考えながら、平成14年度を迎えようとしている今日このごろである。